

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	94	災害情報システムの更新				
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち				
大項目	02	災害に強い安全なまちづくり				
施策	02	地域ぐるみの防災体制づくり				
事業内容						
目的	災害時の情報通信手段として整備している防災無線の現行周波数帯が使用できなくなるため、260MHzのデジタル地域防災無線に更新します。また防災意識の普及啓発を図るため、老朽化している防災センターの普及啓発システムの更新も併せて行います。					
対象・手段	本庁舎・防災センター・各特別出張所・一次避難所(区立小中学校等)・各ライフラインに無線機を配備します。					
成果(事業が意図する成果)						
現行周波数帯の使用ができなくなるため、地域防災無線網については更新が不可欠です。デジタル化により相互通話が可能となるため操作性の向上が見込めます。						
事業成果指標						
指標名	定義	目標水準				
基本計画・導入環境調査・実施設計の策定 防災センタープロジェクターの更新	計画の策定とプロジェクターの更新工事の完成をもって100%とします。	(平成18)	年度に	(100%)	の水準達成	
無線機の更新 施工管理	工事の完了をもって100%とします。	(平成19)	年度に	(100%)	の水準達成	
		()	年度に	()	の水準達成	
成果の達成状況						
	単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
事業成果指標	目標値1	%	0.00	0.00	0.00	100.00
	実績1	%	0.00	0.00	0.00	100.00
	= /	%	0.00	0.00	0.00	100.00
	目標値2	%	0.00	0.00	0.00	0.00
	実績2	%	0.00	0.00	0.00	0.00
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00
事業の実施内容						
平成17年度						
平成18年度	平成19年度のデジタル化更新工事に備え、工事の基本設計・実施設計を行いました。また老朽化している防災センターのプロジェクターの更新工事を実施しました。					

部名称		区長室		課名称		危機管理課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	10,078	
	人件費	千円	0	0	0	2,192	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	0	0	0	12,270	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	0	0	0	12,270	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	0	12,270	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	0.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	0.20	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.20	
事業に関する検討課題							
<p>無線機の設置場所について有効的な配備計画を行うとともに、既存の無線機器では操作の利便性が良くなかったため、より操作性の良い無線機器を導入する必要があります。また、導入後の機器の定期的なメンテナンスが不可欠なため、保守性及び耐久性にも優れた機種を導入が望まれます。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	機器更新、防災無線設計とも計画どおりです。				
	効率性	3	設計コンサルタントを有効に利用し、効率的な設計を行いました。				
	実施の成果	3	防災センターの機器整備を効果的に行いました。無線設計については次年度からの工事には不可欠です。				
	行政の関与	3	災害時の情報伝達手段を整備するのは行政の責務です。				
	妥当性	3	防災対策を行ううえで、情報機器の整備に重点を置くのは妥当です。				
	施策寄与度	3	災害に強いまちづくりのためには、情報伝達手段の強化を図ることは効果的です。				
総合評価	<p>防災無線の整備は、行政が行う防災対策の中でも、特に重要なものです。今後も区の現状を把握し、必要な機器整備をいち早く、効果的に行っていきます。</p>						B 過年度評価 17年度 16年度 15年度 14年度
	改革方針	<p>防災行政移動系無線についての更新を19年度に終了し、20年度からは広く区民に向けて防災情報を提供するために固定系無線のデジタル化更新を進めていきます。</p>					